

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

221号



2020年2月28日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 常盤台ルート下の勉強会も中止 新型コロナウイルスの影響

2月29日(土) 13時半からグリーンカレッジ(志村三丁目)で行われる予定だった、杉江弘氏(航空評論家 元日航機長)の講演会も、新型コロナウイルスの騒ぎで中止となりました。代わりに杉江さんの本をお勧めします。

「パイロットは知っている

羽田増便・都心低空飛行が危険な

これだけの理由」

(合同出版 2020年2月20日発行

合同ブックレット12 定価1000円)

杉江さんの講演はどこかで何度もあると思いますので、またお知らせします。

○ 実機飛行終る

・ 豊島区と練馬区の間で落下物？

早くも実機飛行開始直後の2月2日、豊島区と練馬区の間辺りで空を見上げていた親子が、頭上の飛行機から黒い物体が落下するのを見たと云います。真相はどうだったのでしょうか。

・ 危険な着陸コース嫌った航空会社も

「毎日新聞」2月19日でも報じられましたが、エア・カナダ、デルタ航空などはこの新しい羽田の着陸態勢を嫌って、成田に変更したのです。3・5度という急角度での着陸は、羽田を世界で最も難しい空港とさせ、人口密集地上を航路に取るという「世界に類を見ない」愚策を世界に見せてしまいました。

○ 「図書館跡地に音楽ホールを」 署名運動始まる

この「まちづくりニュース221号」と共に署名用紙を1枚お送りします。事情により別途配達になる場合もあります。ご連絡くだされば何枚でもお届けします。別にご近所で回っている場合もあります。既にご署名頂いている場合もあります。重複にお気を付けて下さい。

今のところ区民事務所を持ってくることしか頭に無い板橋区を動かすには、区民の意思・希望を証明する署名運動が重要だと思います。

常盤台住民や音楽関係者だけに限らず、板橋区の文化的環境を豊かにするために、常盤台の環境を守るために、この運動を広めて行きましょう。第一次集約は3月末です。

○ 図書館の謎



その1 登記されていなかった図書館

法務局で登記簿を取ってみて驚いたことに、公園の敷地は今も全域が公園で、区が公園から分割したという図書館用地の線引きも建物登記もありませんでした。

その2 違法建築

それでは区が言う所の分割した図書館用地の詳細な図面を知りたいので、情報公開請求を試してみました。ある程度のことは解りましたが、建築当時は公園全体を敷地面積として申請、完成後に分割し、結果として違法建築として残る、という悪徳業者が良くやる手を板橋区がやっていた、ということなのでしょうか。

いずれにしろ、区は敷地分割していると言っているのです。跡に建てるものは公園法ではなく、第一種住居専有地域の規制によることになりません。詳しくは次号で。

(署名運動の中で)

他の区でも 他の県でも

この署名は地元の常盤台住民が中心であるべきですが、賛同してくださればもちろん誰でも良いのです。板橋区の音楽文化の貧しさを感じている人、これが出来れば利用したい人、知り合いの気持ちを応援したい人、遠く北海道であろうと沖縄であろうと署名してください。よろしくお願い致します。

ピアノ提供申し出でも

もし音楽ホールが出来たなら、ピアノを寄贈してもよいと言う人が二人もいました。どちらもスタンウェイのグランドピアノです。さすが常盤台！です。

署名運動に妨害も

署名運動が始まる直前、TさんにNさんから電話が入り、この運動と、ある政党とを結びつけて中傷したようです。その結果Tさんは誤解したまま賛同者になっては頂けませんでした。

Tさんの誤解は残念ですが、私たちのやってきたこと、これからしようとしていることが、某政党が目指しているのとTさんが思っているようなこととは、明白に違う位は解ることですから、敢えて放っておきます。

日本に健全な市民運動が育たないのも、こういうレッテル貼りで芽を摘んでしまうからではないでしょうか。

プロムナードの街灯

高さも問題

今までの街灯はおおむね5mでしたが、今回整備する街灯の高さは、土木工事務所がガンとして6mを主張しました。仮の街灯がついていましたが、今まで設置していなかった部分二カ所(公園と小学校の間で、幼稚園からバス通りまでの間)にも本物が建てられました。

しかし、これは本当に高速道路用の物ではないかと思われるようなデザインと高さで、製造で余った物をメーカーに押し付けられたのでは？と勘ぐる人もいるくらいです。

Hさんの家の前はT字路なので、そこに建つ新しい街路灯だと、前の電線に引っかかるので工事務所に来て貰い、検討して貰いました。

高い光で二階の部屋がまぶしくなってしまうなど、余り苦情が多ければ考え直すかもしれないということなので、土木工事務所か板橋区土木課に電話などしてください。

ときわ台駅が景観賞を

姉妹駅の南宇都宮駅が宇都宮景観賞を受けていますが、ときわ台駅も新しく作られた板橋区景観賞を受けました。

ときわ台駅舎が受賞したのは当然といえば当然だと思えますが、他の四例はいずれも高層マンションで、なんだかなくと思ってしまうました。板橋区役所一階ロビーで展示を二月にやっています。

常盤台公園のはなづくり

チューリップの芽がいよいよよしっかりとした葉となってきました。

雑草の芽も出るので、見つけ次第抜くようにしています。二、三月に雑草を抜いておくと、後が楽だそうです。

角の花壇では、クリスマスローズが花盛りを迎えようとしています。

街では塀の外から、(人の家の庭ですが)梅や桃の花が咲いているのが見えて、散歩するのが楽しみになります。気候がどんどん前倒しになっているので、もう河津桜などの早咲きのサクラが咲き出しています。昔からの花ごよみは通じなくなるかも知れません。

常盤台中の花を写真に撮って、写真展を開いたらどうでしょうか。個人情報に触れないよう気を付ける必要がありますが、外から見える部分は、半分公共的なものだと思います。こういう考えは日本では余り一般的ではないかもしれないのですが、洗濯物を外に出さないという不文律も同じような考えからでしょう。

田園調布などの高級住宅地の規約に、美しい庭園をなるべく外に見せるように、といった条項があったと思います。高い塀で囲ってしまうのでは無く、まち全体が田園のように、という理想があったのでしよう。常盤台もそのようになれるはずですが……

